

# 心技



目次

昭和47年7月

十一

初恋	片山和俊	2	川崎一司	1
美しい五条と私	閑谷文男	1	醉態	1
三年前のことになるなあ	福間洋二	3	——	1
人生	倉幸男	4	——	1
『……?』	寺戸吉和	4	——	1
隨筆 初志	折戸吉	2	——	1
ある標準的大学生	下英明	5	——	1
Mb <sub>3</sub>	A <sub>3</sub>	E <sub>3</sub>	Mb <sub>3</sub>	C <sub>3</sub>
西尾広基	——	——	——	C <sub>3</sub>
6	——	——	——	——

マージャンとぼく	E <sub>2</sub>	松島 寿	C <sub>2</sub>	川崎 恭史
六月一日、二日のこと	C <sub>2</sub>	佐竹 広思	13	13
旅	E <sub>s1</sub>	松本 和彦	14	12
私の人生	G <sub>1</sub>	松本 正巳	15	
天国	Y <sub>1</sub>	加納 邦亨	15	
タバコへの期待	C <sub>1</sub>	河部 光男	16	
中学・高校の柔道部	G <sub>1</sub>	北折 康徳	16	
栄光への道	C <sub>1</sub>	春田 賢太郎	17	
孤独なる欲望	Y <sub>1</sub>	柴田 真琴	17	
試合結果				
昭和四十七年度役員				
名簿	20	19	18	17
編集後記	35	20	19	18

## 卷頭言

### 別れのことば

勤務地はつきりしていない。今日の試合は、おもしろかった。いつもうけんめい試合して、強くなつてください。

古橋公二

そのうちよめさんつれてくるから、みんなもけがのないように。

鰐部重久

この一年間ごぶさたしていたので、ほくの顔をしらない人もいるかもしれないけれども、卒業記念にかみの毛をきる。

河村孝一

岡崎のせんい工場の女工をしようかいしてやる。

けがないように。なにかクラブでおもいでになることを、残しておくように。

西本昭二

別れるといふことは、人間にとつてひじょうに大きな進歩である。ひとつのことからわかれ、つぎのことに移るときにいて、ひじょうなしんぼをとげるものである。

阿部典久

二月X日より家はかかるから、一年生も二年の人も、四年生のときのかんげきにひたることが大事。

久野広明

皆一生懸命やってくれ。

山根司

北海道へ行くけれども、工大戦で北海道に来るまえにすこしても、強くなつているようだ。

今敏田哲

戦場はアイシンせいき。

中島和夫

別れにひとこと、ふたこと、部費ははやめに、女性の相談は当方に

池田治朗

身体的にも強くなり、また同学生とのつながりもできて、クラブにはいってよかったです。いままであまりせんぱいらしいことはできなかつたが。

星野幸吉

これで追出しこンバは、無事おわりました。

酒をのんでいたため、少しあいまいな記録になつたようです。

未来へ、

## 生きる実感 || 人生？

Mbs 寺倉幸雄

『……？』

E3 折戸吉和

人生とは何か、  
無の安堵、

無の苦しみ。

孤独の安らぎ、

孤独の空しさ。

無限への可能性、

無限への恐れ。

異性への憧れ、

異性への失意。

人間への信頼、

人間への不信。

生の喜び、

生の喪失。

過去の栄光、

過去の屈辱。

現実の楽しさ、

現実の失望。

未来の希望、

未来の不安。

くりかえし……くりかえし……

おろかしいくりかえしを、ただひたすらに、人間は生きる。  
限られた箱の中を、

何かみいださんがため、何から残さんがため、

過去に、  
現在を、

大男と小男の二人がいます。二人とも柔道をやっています。二人が乱取りをやると、大男がいつもまさっているようです。しかし、側から見ると、小男は薬師であるが、いかんともしがたい、体が非常に小さいのです。小男は考えました。そして夢に見ました。小男が、大男を投げるのを。……あたかも昔日の牛若丸が弁慶を手玉にとつたり、人に聞く西郷四郎の山嵐の如きものを。……しかしそれは夢でした。小男は、それでも毎日柔道をやっています。彼は、何を考えているのでしょうか。まず第一に考えられることは、大男の二倍も三倍も練習し、大男にまけないスタミナと力をつけることです。ここで、大男も、小男に負けないように、大いに練習したとすればどうなるでしょう。結局は、二人の差は、縮まらないのでしょうか。柔道で、「柔よく剛を制す」とよく言われます。この言葉の意味することは何なのでしょう。次に考えられることは、小男が、大男との勝負をまったく考えないことです。柔道とは、何か。相手に勝つことなのか。小男は、そうではないと考えるかもしれない。つまり、柔道とは、スポーツとしての格技であるからして、それは、生命成長の糧となし、又共同生活の助となるような教育手段の一つとして理解した場合、勝負はこの次であると考えようとするかもしれない。それは、精神修養の美名にかくれて、勝負からの逃避を意味するのだろうか。もしそうだとすれば、勝負を第一に取り上げれば、いかなる手段も可とされ、柔道が、人間の闘争本能に基づく、一つの手段と化してしまうかもしれない。しかし、柔術から柔道への展開からすれば、それは、まさに遂行しているように見える。

小男は、あれこれ考えて、いやまだ考え方づけているのであろうが、まだ、思案顔をしている。実際良くわからないのであるらしい。

C2 川崎恭史

昨日、色々と考えた末適當なテーマが思い当らないのでつづれづれなるまま支離滅裂に、規定の原稿用紙を満たすだけ書いてみた。

①まずクラブで得たもの。それは幾人かの悪友と先輩。合宿の時などは、今考えるとバカらしいのだが、互いに童心がよみがえったがごとくじゅれあつた悪友。誰かの誕生日だといつては一晩に飲みに行き、そして歌い誰かの下宿で座寝した。人は言う、「クラブでの友は一生の友になる。」と……友は得がたいものそして大切なものである。合ハイ、コンバの後には決つて、一年生があたかも金魚のファンのごとくついていった先輩。試験の前には出題傾向を聞き、ヤマをかけてもらつた。

先輩はこわいもの、そして頼りがいがあるものである。

②クラスで得たもの。①と同様に幾人かの悪友、あるときは麻雀バチンコに打ち興じ、またあるときは飲み交しあつ歌い興じ、試験前夜には、一人の下宿に集まつて教えられたり教えたり。そんなとき友は僕にとって劣等感の対象でもあり優越感の対象でもある。

友はよきもの、そして楽しきものである。

③大学で得たもの、学問というにはあまりにも主体性のない断片的な知識、それだけで得たような一枚の成績証明書。……

この一年、大学へ入つて最初の一年だから思いきり遊んでやろうと、勉強は二の次にしていたが、二年になつた今でもその余譜が残つてゐるみたいであまり意欲がわかない。

後期に入れば進級制限も気になつてくるだろうが。……大学は遊び所、そして要領よく学ぶ所である。

④名古屋で得たもの、ちょびりの名古屋弁。……あのユーモラスな「おもしろいでいかんわ。」とかそういった独特の名古屋弁が自分の口から何の抵抗もなく出るようになつた。あと三年もいれば完全に名古屋弁になるのでは……

名古屋は大都会である。そしてたくつな町である。規定の字数300字をちょっと越しましたのでこのへんで筆をおきます。

## 中学・高校の柔道部

G1 北折康徳

最初に、ぼくが柔道を始めたのは中学のときで、友だちに誘われるままに入部した。中学のときは畳が二十畳ぐらいしかなく、寝技をやつているとあちらからもこちらからも人間がわざと上に倒れてきて、柔道をじっくりやれる状態ではなかつた。そんなわけで柔道でなくてレスリングばかりやつていた。

高校にはいってからもなんとなく続けた。入部したはじめのころやせたひ弱そうな先輩を投げ飛したまでは良つたが、いろいろな補強運動をやらされて、三日間腕が肩から上へあげれなかつた。高校のときの道場は建物が古い上に、道場の中にはとがたくさんいて、ふんをおとすので「きたねえ、きたねえ。」とふとんを掃除して柔道をやつたものだ。次に高校のときのぼくの試合の成果は一勝五ブ

ラスアルファ敗三引き分けで慄胆たるものであつた。氣の弱いせいか、試合場へ行くと足が地につかない感じで、相手がえらく強そうに見え、速いときは五秒、おそらく三十三秒へおさえ込みの時間(を含む)で敗れたものだ。そういうこともあつたが高校のときの柔道部はたいへんたのしいものであつた。夏休みの練習はくそ暑いといつて、柔道着をきたままソフトボールばかりやつていたし、部費は全部アイスクリーンに使つたし、部室にはエロ本がたくさんあるし、みんながあつまればワイ談がはずみ、寝技はえらいからとすらばかりつっていた。

大学に合格して、柔道にはいつたからには、がんばらなくちゃあ。

試合結果

2 部準決勝戦

名工大

皇學館

編集後記

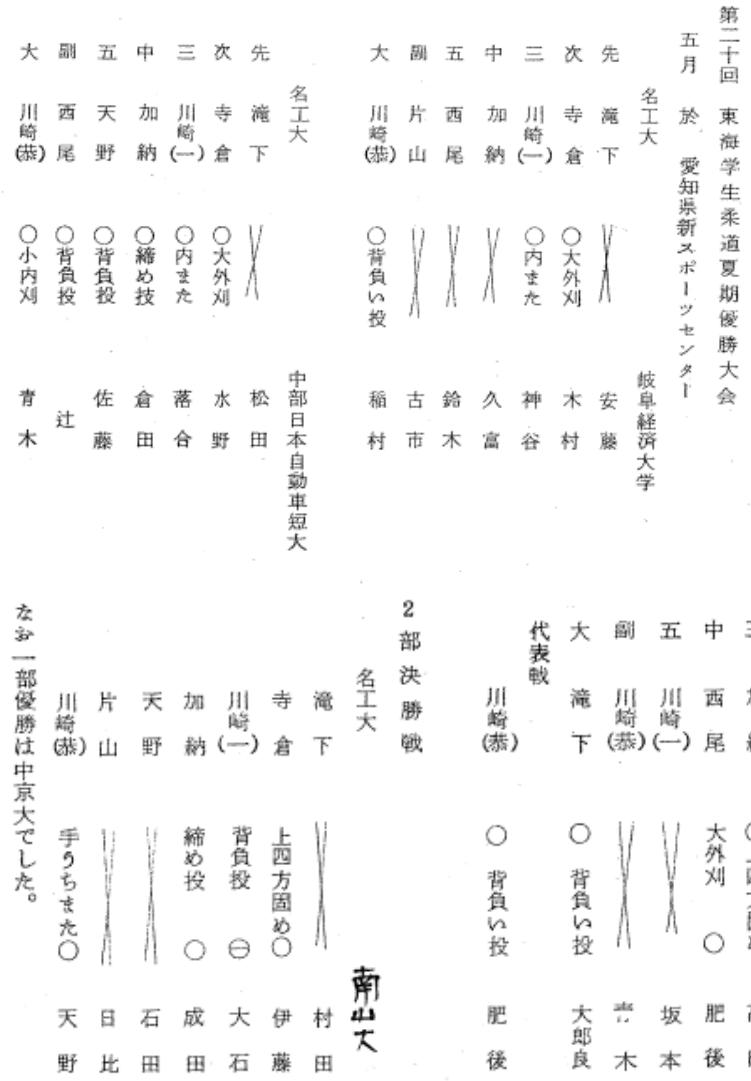
まさにへたな文ばかりである。しかしへたはへたりに、しつかりと、じぶんのからにとじこもつて一線を出ないところにおかしみを覚えるのはほくだけでしょうか。最後に、全国各地で活躍されている先輩諸氏と、我々柔道部とのコミュニケーションの一端にでもおもいまして、この小冊子をお届け致します。また、住所欄の訂正につきましては丁寧な御返事をお送り下さいました先輩諸氏には、心からお礼を申し上げます。

滙片  
下山  
英和  
明倫

昭和四十七年度

主 將 副 主 將  
主 務 會 計 外 涉  
川崎 一 司 寺倉 幸雄  
洋 二 間 福 折 戶 吉 和 俊  
寺倉 幸雄

関谷文男  
西尾広基



# 心技



11号

昭和48年7月

## 目次

### ◎卷頭言 ◎別れのことば

柔道を始めた動機

旅と私	C <sub>3</sub>	川崎恭史	1
優越感に浸りたい人へ捧げる	C <sub>3</sub>	佐竹広思	1
俺がつぶしたんじゃない	Mb <sub>3</sub>	天野伸二	1
金属科	E <sub>3</sub>	高阪義男	4
ちよつと一息	E <sub>3</sub>	酒井俊広	4
死を見つめて	W <sub>3</sub>	松島寿一	5
女に対する哲学	E <sub>3</sub>	今井伸明	5

ダイガクセイ	G <sub>2</sub>	北折康徳	7
雑感	C <sub>2</sub>	春田賢太郎	7
因幡の白兎	C <sub>2</sub>	河部光男	8
ケセラセラ	G <sub>2</sub>	松本正巳	9
大雪山縦走記	Es <sub>2</sub>	松本和彦	9
ルミ子からの手紙	Y <sub>2</sub>	柴田真琴	10
オレハイキヌク	Y <sub>2</sub>	加納邦	12
柔道部の中の儀	Ma <sub>2</sub>	今井誠	13
柔道一直線	K <sub>2</sub>	石黒勝彦	14
中学・高校・大学	Mb <sub>2</sub>	安井二郎	14
柔道と女の関連について	Ma <sub>2</sub>	和田耕造	15
宮本武蔵	C <sub>1</sub>	佐藤竜夫	16
ロマネスク	A <sub>1</sub>	平田昭任	16
木曾川の恐怖	A <sub>4</sub>	永田定雄	17
柔道部の長所	A <sub>1</sub>	佐伯正樹	17
合宿から	A <sub>1</sub>	前中弘美	18
五盤半	Ma <sub>1</sub>	岡本克也	19
心技	E <sub>1</sub>	中江吉宏	19
ヘンシーン	E <sub>1</sub>	高島寛	19
試合結果	Y <sub>1</sub>		
昭和四十八年度役員	B <sub>1</sub>		
名簿	Ma <sub>1</sub>		
編集後記			

## 別れのことば

## 追い出しコンパより — 於初寿司

いよいよ私達の大学も夏期休暇に入りました。

先輩諸氏は、この酷暑の中、お仕事に励げんでおられることと存じます。私達専外も、名古屋の暑さに耐えきれず、喫茶店のはしごをしながら、心技の練習に上げをしています。この心技も初刊以来はや十一号を迎える事になり、先輩との唯一のコミュニケーションとしての役割りを果たしてまいりました。今回も提出された原稿を、笑いをおきえて読みながら、一つ一つまとめてみました。一人一人の原稿には、それぞれの人間の個性がじみ出ており、名文と言えないまでも、何か心に訴えかけているものがあると思います。お忙しいことと存じますが、どうぞ最後の一ページまでお読みくださいようお願いします。なお、最後に七月七日に静岡で行なわれました東海地区国立大戦において準優勝をおきめることができましたことをお知らせしておきます。

涉外



今まで三回ばかり追い出したけど、今日の試合は楽しかった。今日見たところ、人数が数段多くなっている。人数がいれば、少しぐらいは強くなる。

岩佐誠司

あと二年いるからたまに練習にいく。一年の数が多いがライバル意識で強くなるだろう。がんばれば、みんな三段ぐらいになれるだろう。

池田英司

僕が四年前に入った時は皆強かった。

でも今は弱くなっている。僕らもたしかに弱かったが、今日は名工大始って以来の好成績だった。将来、格段の練習をしてみんな僕ぐらいいの実力になるようにな。

竹内哲治

僕を柔道部の人達は余り知らないでしょう。今日は三年間で快心の作であった。

重野芳人

ほんとうに月日の経つのは早いものだと思う。

菊地芳男

## 柔道を始めた動機

C<sub>3</sub> 川崎恭史

僕が柔道を始めたのは、高校入学して間もなくである。その頃先輩etcに「何故柔道部に入部したのか」聞かれた事があるが、はっきりとした入部の動機等考えてもいなかつたので、ただ漠然と「体を鍛えるため」とか答えたようだ。今、「柔道を始めた動機」をテーマに「心技」の原稿を書くに当って、色々と思い返してみた。しかし、やはり明確なる動機は思い当らないのである。登山家の心理のようなもので「柔道というスポーツが存在するから」かもしれない。ただ親父の影響が多少なりともあるのではないかと思う。どういう事か心理学的に解説する事にする。まず男としてこの世に生をうけ最初に同性を意識するのは、自分に最も身近に居る兄弟か父親であろう。そしてそれらの同性は必然的に無意識のうちに自分自身のライバルとして大きな比重を持つようになるのである。僕の場合、同性の兄弟がないため、いよいよ親父がライバルとして大きな存在となり、この男を追い抜き乗り越える事が家族に一人前の男として認めてもらえる最短コースであると本能的に感じていたのである。親父は学生時代柔道をやっていたし、小さい頃よくその頃の事をよく聞かされていたので、親父を追い抜き乗りこえるためにはまず柔道からと感じていても何の不思議もない。では、親父に勝つために柔道を始めたのかというとどうもそうではない。ただ、そういう事のためにというのが柔道を始めた一因になつてゐるのは確かであろう。

大学に入って、たまの休みに家に帰ると、一杯気分でよく柔道の話を聞く。大学には負けんなどと言つて僕に試合をいどんでくる。相手の勘も考えて、軽く聞き流してはいるのだが、受けて立つとしても勝つべきか負けるべきか問題なので、目下試合については思案中です。

## 中学・高校・大学

K<sub>2</sub> 石黒勝彦

私が柔道のスタートを切ったのは中学の時です。当時、東京オリンピックやテレビの「柔道一代」で煽られた私の柔道熱は迷うことなく柔道部の門をたたかせたのです。しかし、後はその時から始まつたと言つたらよいのでしょうか、基礎体力のない虚弱な私は、毎日二時間以上の練習に耐えることができず、入部以来三ヶ月で卒業まで休部の形をとることになったのです。高校でも又柔道部には入つたのですが、今度は中学とうつて変わり、ノ熱心な部員として練習に励んだつもりです。四日市高校は県下では柔道の名門?でした。最小の練習で最大の効果をということで、練習時間は一時間強、しかし、きびきびした練習はこびで練習後は充実感にあふれていたものです(今はダメ)。やはり柔道との縁を切ることができず、恥ずかしながら、名工大柔道部員として御世話になって居ります。まだ入部して一年も経つておりませんが、一言、感想を述べさせていただきます。中学、高校とやってきましたが、やはり今がいちばん居ごろが良いと思っています。何と言いますか、うまく言えないので、とにかく「明るい」のです。中学、高校のあの重苦しさが全くないのです。(悪く言えば緊張がないのでしょうか)昔より部員数が減つたとはいえ、他クラブのように退部者が少ないのもこの「明るさ」だと思います。残して欲しいものの一つだと思います。

試合結果

第二十二回 東海地区国立大学体育大会  
七月 於 静岡大学

大副八七六五四三次先

高佐松岡春北川天酒石  
阪竹島本田折崎野井黒

○大外刈  
○内股  
○外刈  
○内股  
○外刈

藤平曾片神丸往塚  
田野我山戸中田中木本  
静岡大学

大副八七六五四三次先

北松和石佐川天酒岡  
坂折島田黒竹崎野井本

○横四方固  
○けさ固  
○合せ技○  
○内股

諸坂船佐鈴木小藤  
頭津戸(勝)森林鶴野  
駿臥大學

大副八七六五四三次先

坂折島田黒竹崎野井本

○横四方固  
○けさ固  
○合せ技○  
○内股

犬岡

大副五四三次先

高川春佐天石岡  
坂折島田黒井本

○合せ技○  
○内股○  
○けさ固○  
○手内股○  
○合せ技○

佐荒齊氏宮安田  
藤木原家本西村

以上の結果、岐阜大学が静岡大学に敗れていたためリーグ戦  
となり、決勝に進出しました。

最後に、この「心技」の発行に当たりまして、先輩諸氏の住所、  
勤務会社などをできる限り、正確に載せて頂きましたが、な  
お住所変更、又不明な所がありましたら、是非柔道部宛お知らせ下  
さるようお願い申し上げます。

湯川重男

第十五回全国国立大学柔道優勝大会

大副五四三次先

高松川春佐天石岡  
坂折島田黒井本

○合せ技○  
○返し技○  
○足払い○

池藤岡秋吉  
木崎笠川山東京外國大

結局、優勝は三重大、準優勝名工大、三位は名大と静岡大でした。

大副八七六五四三次先

高北松和石佐川天酒岡  
坂折島田黒井本

○背負投○  
○大外刈○  
○背負投○  
○縦四方固○  
○合せ技○  
○合せ技○  
○ひざ車○

鈴大谷広中木伊中藤有  
木谷口部作野藤川内竹  
三重大学

編集後記

今年も例年と同様、原稿用紙二枚に文章を書き終えるように云つ  
ておいたのですが、提出された原稿で規定内の字数で終っているの  
は、ほんの一部でした。だけど字数にこだわらず、自分の気の向く  
ままに書いた文章は、読んでいても大変楽しく思えました。全体を  
通して、女性に関する文章が多いようですが、実際には、我柔道部  
員は、女性の前では日頃の元気が消えさせ、意氣消沈してしまう者  
が多いのは、やはり柔道を志す者は、純情、素朴な者が多い為でし  
ょうか。

主将	川崎泰史
副主将	高阪義男
主務	天野伸二
会計	佐竹広思
松島寿一	藤井尚之
湯川重男	酒井俊広

昭和四十八年度  
役員

員

(名簿付)

# 心技十二号



昭和49年7月

## 目次

## 次

前書き	.....	
春のOB会における	.....	
又井先生部長就任あいさつ	.....	
卒業生からの言葉	.....	
初心	.....	
E62 J1 G1 C1 A1	小木曾 英夫	5 4 3
森 前 寿 保	石村 勝悟	6 6 5
子孫のために	.....	
ラーメンとTOBACCO	.....	
暖づよしに	.....	

暇つぶしだ	.....	
馴し合い	.....	
柔道部その非必然の世界	.....	
毛 鳥	.....	
C2 A2 E62	佐藤 竜夫	8 7 7
C2 A2 E62	平田 昭任	8 7 7
C2 A2 E62	森 藤竜夫	8 7 7
C2 A2 E62	和田耕造	8 7 7
C2 A2 E62	岡本克也	8 7 7
C2 A2 E62	佐伯正樹	8 7 7
上海だより (まぶたの母)	.....	
神のおつけ	.....	
生命ある日に	.....	
シング	.....	
新入部員の皆さんへ	.....	
白い恐怖	.....	
現在と未来の狭で	.....	
試合結果	.....	
Y3 Mag ES3	松 本 和彦	13 12 12 11 10 10 9 8 8
K3 G3 G3 mB3	安 井 二郎	13 12 12 11 10 10 9 8 8
K3 G3 G3 mB3	柴 田 真琴	13 12 12 11 10 10 9 8 8
K3 G3 G3 mB3	佐 伯 正巳	13 12 12 11 10 10 9 8 8
K3 G3 G3 mB3	北 折 康徳	13 12 12 11 10 10 9 8 8
K3 G3 G3 mB3	石 黒 勝彦	13 12 12 11 10 10 9 8 8
Y3 加 納 邦 享	今 井 誠	13 12 12 11 10 10 9 8 8
名簿	.....	
あとがき	.....	
34 18 16 15 14 14	13 12 12 11 10 10 9 8 8	

## 前書き

暑い暑い日々、諸先輩は如何お過ごしでしょうか。

柔道着をきて柔道場へ入ったとたんしたたり落ちる玉のあせ。もう練習が終わらないか終らないかと念じつつ練習し終った時のあの口につばの出なくなった時の、熱帯のうれしさそううして今日もまたやったたという充実感。みなでのむコーラのまゝ、若さがムンムンする柔道場にて、その若さの熱気の一端でもお送りする事ができるように折りつづ「心技」の仕上げを急いでいる僕達です。

(編集者)

名工大に移りまして14年、86枚あった体がやせてしまいましたがこのたび在校生の意志をはいして世話をさせて頂くことになりました。

O.Bの方々は多方面で御活躍しておられます。このような雨の中をわざわざ御こし頃いて本当にありがとうございます。

柔道とは一つの情の世界であると思います。人にかける情、人を恋ふる情、激情、こまやかな愛情、情の世界に生き、心のふれあいでともに生きる、何ら科の集まりでもない自分の実生活の外の集まりにこんなにも多勢御集まり頂いて胸をうたれる思いです。

シムラーの美の世界、……………  
長い人生は自分の気持で生きていかねばならない。情熱なしに何事をも成し遂げられないものと思います。皆様方の若い力でもってしてOB会をつくってできるなら各年ごとにOBの結束を新たにし心技にOBの、先輩の名を前に運らね、一年に一度は大同団結してもらって、馬鹿になつてもらって現役OBが一丸となつた名工大柔道をしていくてもらいたい。

## 春のOB会における 又井先生部長就任あいさつ

## 卒業生からの言葉

川崎

大阪府庁 毎日の練習が大切だと通感した。  
日々の練習をしっかりとやってほしい

折戸 就職は大林組、思い出は一年の時よく縮められたこと

皆んなも強くなるならないにかかわらずがんばってくれ。

宮崎

就職は八幡 東京に永住の予定  
みぐるしい試台をやらんようにしてくれ

福間

就職は日立 アホが多い我がクラブ、仲よく頭、体  
をこわさずに毛(毛髪)の抜けない程度にがんばれ  
自己流の変形わざ柔道であったけれど、勤務先は炭  
木こちらに来たら是非連絡してくれ

寺倉

就職先は豊田自工  
柔道を通して精神力や協調性を養えた  
皆も強くなること以上に精神面を鍛えてくれ

片山

就職はクマガイ組 七年間柔道をやって全然ものに  
ならなんだが、高校卒のとき<sup>58kg</sup>いま<sup>75kg</sup>、皆ゼイ肉つけずがんばってやってくれ

関谷

目標はヨメさん、関西地方に勤務の予定

皆仲よく体をこわさずによいクラブにしていくてくれ

西尾

日産に就職 東京で過ごす。クラブを通じ友達を得た。東京へ試合に来たら是非尋ねてくれ少しはおどる

高下

山下設計事務所 仲よくやれるクラブであるように  
力いっぱい勉強にクラブにはげんでよい大学生活を



## 新入部員の皆さんへ

石黒勝彦

日頃口数少なくおまけに余り練習に出ていないので諸君と話す機会も限られています。ここでクラブについて私の思っていることを書いてみます。

△練習▽ 高校時代から、やってみえた方の中には「高校時代のはが厳しかった。」という声が多く聞かれます。確かに大学の部としては消してきつい練習だといえません。(楽だともいえませんが)理工系単価大学であるので、授業の関係上練習時間も制限されます。だから短時間で効果的な練習が要請されるのです。練習計画を立てるのもよいでしょう。六〇分でもよいから充実した練習を考えてほしいと思います。

△酒▽ 新歓コンバの時はさぞおどろかれたことでしょう。

私は人部が遅れたため幸か不幸か新歓のあのさま深いコップ酒攻撃は受けておりません。飲みたくないものを無理に飲まされるのも不快であれば、かといって自分だけしらけている訳にもいかず、酒ぎらいな人にはつらいところですが、まあ適当にやってください。

△女▽ 合ハイに限りますと、この件に関しては先輩、後輩もなく

実力の世界です。諸君も先輩に遠慮なく責め的にどうぞ。

僕は田舎育ちだと近頃感じじる。別に駒山は田舎ではない、たんなる地方都市である。

吉松本正巳

近頃になってやっと都会人なる者が解かりかけて来た。

彼らは何を考えているのか?せかせかと歩き、ゆっくりとしんぼうすることを知らない。身の回りにある物として、車の列、酒飲み屋後のネオン、すべてがコンクリートで包まれ、見わたせばゴミやアリのごとく無数の男や女ども、若者たちはやら愛を語り、セフレを求めるまま愛情にうえている年寄り達は生活に飽き、眠たそうにつかれている。流行を求める金と時間のある奴は酒、パチンコ、競馬へとギャンブルに熱中する。

連休ともなると脱都会と言っては大移動をする。どだいトロが多すぎます。まさにパンクの一歩前なり、彼等は堕落している。エゴイズムの度合が強すぎる。若者たちは、自慢ともなると孤独を恐れ、集団を求め榮などに集まつてくる。別に何をする事もないのに、まるで地下街などは女男のファッショニヨーのごとく思われる。まるで個性なんてものはない。ストリーキングを最初にやった奴は感心する。今井君や和田君などは、もしかすると榮で堂々と歩くかもしれない。とにかく自分のため何かおもしろいことはないかと常に考えている。エゴイズムの社会はきらいだ。一年の時心技に自分は馬鹿と言われる人間になりたいと書いた、そして皆よくそれに協力してくれたと思う。



# 心技



十三号

昭和50年7月

卷頭言

卒業生からの言葉

今、一番思うこと

C1 小谷純史

或る阿呆の一日

F1 松永栄樹

俺と柔道

E1 井上祐二郎

旅をして

K1 永戸吉明

愛のテーマ

作者不明

6 5 5 4 4 3 2

「灼熱の冰感里」(高橋実氏著)	J2 大前悟
修学旅行裏話	G2 八塚悦和
柔道部一年間	A2 小木曾英夫
無題	C2 石村孝
無題	E3 森寿保
口唇には歎を	E3 佐伯正樹
老人と海	C3 和田耕造
哀愁	M3 岡方克也
「ぐうたら人間」	F1 西拓二郎

6	5	5	4	4	3	2
現役部員名簿	卒業生名簿	試合結果	後記	卒業生からの言葉	今、一番思うこと	或る阿呆の一日
E1	F1	M3	C3	E3	C1	E1
井上祐二郎	西拓二郎	岡方克也	和田耕造	佐伯正樹	小谷純史	松永栄樹
旅をして	「ぐうたら人間」	哀愁	「灼熱の冰感里」	無題	無題	「灼熱の冰感里」
K1	F1	M3	E3	J2	G2	A2
永戸吉明	西拓二郎	岡方克也	佐伯正樹	大前悟	八塚悦和	小木曾英夫
愛のテーマ	「ぐうたら人間」	和田耕造	森寿保	悟	和	夫
作者不明	「灼熱の冰感里」	克也	寿保	7	7	8



30 29 15 14 12 11 10

## 卷頭言

現代とは、この問いに誰がパーエクトな解答を出せるだろうか。それ程現代が怪物である証明になるであろう。多くの問題と一つの問題が全人類に影響してしまうのである。

最近は、叫ばれなくなつたが、現代の問題に、人間性復活といふことが言われてきた。人類に、進歩と便利さと幸福を持たらすのが科学であり、技術であつた。だが日進月歩以上に技術革新が進み、機械が、自動化されていつていて、人間は、ただ考えもせずに、機械の構造を知らずに、製品が作れるようになつた。ここに人間喪失と、人間疎外が生じて来た。それは機械と人間だけでなく、人間と人間との間にも生じてきている。肉体労働者と精神労働者との疎外は当然ながらも、肉体労働者の間でも孤立化と個人主義傾向が進んでいる。だからこそ、叫ばなければならぬ課題であつた。

現代というか日本においては、福祉が、一層進み、又アルバイトだけでも、生活が楽に出来ることや、文化的職業だけで充分生活が出来るようになつた。そこから、価値観、特に若者における価値観の動搖が生じて來たのである。二〇代前後の若者の内8人一人は、大学生であることの一つの原因として日本の社会が歴史主義に陥っている状況を反映した。若者の適応性を示している。逆に社会から見れば、高度な技術をしかも、多くの人間が必要としているのである。

こうした状況で毎年四月には、多くの新入生が、期待と不安を抱きながら大学の門をくぐる。彼らの多くは、勝利したものの喜びの声と、受験勉強の苦しかつたことを語り合う。だが数ヶ月すると期待した授業は受けられず、大量人数の授業と何々教授の高説に、飽きがくる。一方授業中でしか仲間を知れないような学生は、孤立化してゆくのではなかろうか。そこで勉強に精を出すものや、合ハイに生きがいを感じる者や、クラブに情熱を傾けるものの分化が発生する。

我々柔道部は、かかる状況をふまえ、人間的交流を深め、体力をつけ、精神を鍛錬し、自己練磨の道へ進むものである。人間疎外という現代に対する一つの挑戦である。

最後に、現役部員の活動を暖い目で見守つて下されば幸いです。

## 卒業生からの言葉

### 老人と海

C3 和田耕造

川崎——顧みますれば、名工大柔道部に入部以来、可も無く不可も無く、柔道をやつてくれたのは四年の同輩諸君の賜物と深く感謝しています。名工大柔道部は不滅です。後輩の皆さん、50年代に第二の黄金時代を築く事を祈る。

高阪——高校一年からはじめた柔道ですが、初段のままで終わって

しまった。後輩諸君は、これから頑張つて欲しい。

酒井——大学に入つてから4年間、学生生活を楽しくやれたのは柔道部のおかげです。去年はよくやつてくれて同じ柔道部員として嬉しい。卒業してしまうと非常に寂しくなると思う。

天野——盛大なるコンバで胸が一杯です。後はみんなで頑張つて下さい。今年も頑張つて優勝して欲しい。

今井——大学に入つてはじめて柔道をはじめたので、他人からみれが弱いかもしれません、柔道部の雰囲気が良いので4年間続ける事ができました。来年から役員が少ないが全員協力してやつて欲しい。

松島——本日の試合は内股が決まって、気分が良い。後輩諸君はもつと練習してほしい。僕は2年から柔道をやりはじめて、みんなと旅行したのが楽しい思い出です。2年は少ないので、これからしんどいと思うけど、みんなで和氣あいあいと仲良くやつてもらいたい。

シーツを直そうとして、そこに染められたおびただしいしを眼にすると、片づけるでもないあわてるでもない、ひたと眼をすえ、しかし悲みの色はうかがえぬ。

筆者注・この作品は、長友ヘミングウエイ、野坂昭如両君より吾輩にささげられたものであります。

娘は眼を閉じだまま、娘を紅張させ、いつきいの力が抜けたようで、裾の乱れもすでに怠惰ではなく、時おりむりやり眼ひらこうとするように、またを開くが、その瞳には何も映じていず、呼吸の度に脛から赤子のあまえる如き聲音もれ、老人な執拗にうごめき続けた。

老人しごくいたわり深く、娘また親にたよる如くませきつて、苦痛の叫び混じりはしたが、すぐに糸を解きほぐすような轟々（じようじよう）たる鳴咽にかわり、まさに山の雲雨ただならぬ風情、冬のつるべ落しに陽の光薄れ、ほの暗い安宿のきしみも混じる中にあつて、娘はふと声をとめ、それは線香花火のぐらぐらとふるえつゝ、めくるめく発散を待つ、異常に密度の高い静まり、老人はそ間合はかる如く、一進一退していたが、しばし後、けだものの叫びに似た悲鳴が洩れ、なすまだた娘の体に物の怪の乗り移つたか、力を入れて自らの枕をにぎりしめ、老人しかし依然としてゆるやかに動き、気づくとすでに室内は闇に近く、ただ、二つの白い体だけがからみあつたままほの明るく浮かぶ。

こと果てて、老人少しよろめきつつ、はばかりに立ち、姿の消えのを待つて、娘はのろのろ這い出すと畳の上の腰巻を身につけ、

試合結果

東海地區新人戰

大副五中三次先					大副五中三次先					名工大		海地区新人戦		
小谷上	井上	八塚前	大石村	西小木曾	小谷	井上	八塚	西小木曾	大石村	井上	八塚	西小木曾	大石村	井上
内合	上四方固め	合せ	合せ	内股	内股	内股	内股	内股	内股	○	○	○	○	上四方固め
股技	せ	せ	せ	V.S.	落	落	落	落	落	体	内	裸	校	V.S.
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	し	般	め	め	め
渡辺	福田	池田	竹内	岩崎	水野	五味	愛知学院	太田	宮藤	佐藤	大岩	大澤	稻垣	大同工大

夏期大会予選サトゲ

後記

「やつと出来上がつた。いや、やつと作品を集めきつた。」と言つた方が正確だ。請求しても中々書いてくれず、原稿の割付に困つてしまつたが、どうにか発刊までこぎつけた。

今年の作品の傾向は、昨年とよく似て、柔道部についての感想が多かつた。この傾向は、毎年続いていると思ふ。何故なら毎年一年生が入つてくるからである。次に特筆すべきことは、ボルノ的作品を書こうとする奇人が部には一人や二人はあるもので柔道部は、他分に漏れず数名いた。これは、男だけの世界のスポーツ（最近は女子もやつているそだが、見かけない。）において、欲求不満の現れか、もしくは、いい意味で万人の本能を素直に肯定したと解釈される。いずれの作品をとっても、自分なりに努力し、日頃書くといふことをしない工学部の人間にとつて、いい発言の場と思われます。諸先輩方が、この機関誌を読んで、限在部員の考へていることが少しでもわかつて下されば幸いです。又、この機関誌に対する意見もしくは、部に対する援助があれば、又幸いかと思います。

柔

技

昭和51年10月

第十四号

浪人と下宿	Mb1	1
友だち	A1	15
新入部員のオレ	C1	4
昨年度卒業生の言葉	O	8
中華屋の女	B	2
雜詩	卷頭言	1
作文苦手の僕	K2	11
私はアルコール粒子	F2	12
名工大周辺	C3	12
飲まずアホに飲むアホ	J3	13
試合結果	19	18
卒業生名簿	6	13
横井寿雄	6	12

私が柔道部に入いったのは—— Mb1 市川 誠 —— 7

夏のはじめに—— E1 岡本慎二 —— 7

柔に生きる男の道—— E1 鈴木勝弘 —— 8

僕のアレルギー—— E1 津田裕之 —— 8

思いつくままに—— Es1 大西 宏 —— 9

変態的飲酒法—— Bi 佐藤金典 —— 10

中華屋の女—— C2 小谷純史 —— 10

雜詩—— K2 永戸吉朋 —— 11

作文苦手の僕—— F2 西拓二郎 —— 12

私はアルコール粒子—— A3 小木曾英夫 —— 13

名工大周辺—— C3 石村孝 —— 12

飲まずアホに飲むアホ—— J3 大前悟 —— 13

試合結果—— 19

卒業生名簿—— 6

## 卷頭 言

これ程までに、酒と密接に関係を持つクラブが他にあるだろうか。私は、心技を製作するにあたって、つくづくこう思いました。

ほどの部員が、酒の事を話題にしていましたし、一年生で「恐い」とか書いている者がいますが、彼は本当は、先輩の、酒を通じた後輩想いの優しい気持ちをよく知っているのです。そして、その優しさに、素直に答えるのが恥しくて、「恐い」という言葉で表現しているのです。その気持ちが痛い程よくわかります。だから一層、もつと飲ませて喜ばせてやりたいと思うのです。

後輩と先輩、同輩同志の親密さは、その間で飲む酒の量に比例すると、ある数学者は述べましたが、誠に、その通り。

酒を語らずして、私達の柔道部は語れない。酒で結ばれた部員同志の心は、酒色に輝く光で一杯です。そして、その光をさらに美しい物にするために、皆声をそろえて言うでしょう。「今夜も酒だ。」

## OB の 言葉

君達が心技を作る気持は、僕には判る。僕が心技を作った時の気持ちがよみがえってくる。その時、僕が言つた言葉は「趣味での柔道はやるな。」ということであった。

生命の全チャンネルを解放せよ！

48年卒 赤井

柔道は、やつでいる時は苦しい事ばかりだが、思い出は楽しい事ばかりである。

45年卒 磯口

柔道だけは、四年間続いた！これが大学生活最大の収穫であった。

44年卒 近藤嘉孝

ウデ、コンジョー、アシよりコシだ！コシを入れば一本だ！

49年卒 木村 隆

私は柔道によって、虚弱な身体を強健にすることことができ、又同時に根性のある人間にならねばならない事を心の底に、たたき込まれてきた。高校時代までの柔道生活は、勝負、人間味の修練が主であったが、大学時代では、社会生活に通じる根性をたたき込まれた。

遊ぶ時は遊ぶ／仕事をする時は仕事をする／とに角、何事も一生懸命やらねばならないことを教えられた。

思えば合宿中、コツソリと抜け出し、酒を飲みに行き、明方帰つて、朝六時起床、笑顔で練習に望んだ（望まざるを得なかつた。）

ことなつかしく思われる。根性有る人間たるべし！

42年卒 池田重明

柔道を通じて友を得、人間の信念を知る。  
仕事は、熱意と体力にて決まると信じる。  
実業は、人間の心の持ち方、体力による。  
仕事に、妻に、儲ける。

仕事は、熱意と体力にて決まると信じる。  
柔道部OB会大いにハッスルして発展したい。

私もOB会の人のために尽し、大いに人生、悔いのない物にしたい。

49年卒 平岡雄偉

人生意氣に感じては、成否を誰が論う

42年卒 杉山倫一郎

住宅、店舗、工場、マンション、増築、改築、R.C.造（鉄筋コンクリート造）、S造（鉄骨造）、木造なんでもやらせてもらいます。

柔道部員頑張れ!!

OBに一言、申し上げます。37年卒吉村、森田が、OB会の最古参です。36年以前の諸先輩も的数おられる中で、我々が最古参と言うことは悲しいことです。我々の身近な先輩の松本さん、加藤さん、豊見さん、二年先輩の長谷川さん、佐伯さん、三年先輩の鈴木さん、川戸さん、それ以前の先輩の諸氏、是非とも、OB会に出席して下さい。青春時代に帰ってお互に若返りましょう。

37年卒 森田勝人

若き、青春、意氣、スポーツ、苦しみ、絶喜、忍、酒、恋……、全てすばらしいものだ。

長い人生の一時期、大切にしたいものだ。

学生時代……真の友情、情熱、喜び、この一時。20年前に帰つて、大いに楽しみたい。

37年卒 吉村 健

樂しかったというより、四年間、きびしい練習をしたなあというぐらいいの練習を続けて欲しい。

辻先輩

四年間、つちかってきた柔道精神をもつて他人には甘く自分にはきびしく。これからもがんばってくれ。

守谷先輩

石黒……クラブのことと卒業研究のことぐらいしか残らない。時々さぼつたが、よかったです。

安井……東京に行くので遊びに来てくれ。柔道部にはいつていなければつまらぬ大学生活だったろう。

河部……大学にはいつからJUDOを始めた。途中腕をケガしたがけがには気をつけてくれ。藤田工業にいる。めんどうみるから寄つてくれ。

加納……卒業するにあたって一言。みなさん、いろいろとお世話になりました。名工大柔道部の伝統を崩さないようにがんばってください。名古屋に居るから時々来ます。

松本(笑)……四年間いろいろと楽しかった。よい先輩後輩に恵まれて本当によかった。全く悔いのない四年間だった。

今井……今日の試合は腰が痛くて惨敗だった。来年は東京にいるので来た時は寄つてください。

北折……あと二年名工大にいるので時々練習に行く。後輩のみなさんはがんばつてください。部費はちゃんと払いましょう。

春田……先輩、みなさん、おいでいただきてありがとうございます。思ひ起こそば四年前、いなかから出てきて柔道部にはいり自分を鍛えることができ、又、時々さぼつたりもして、とにかく楽しかった。後輩諸君、自主的に楽しくやってくれ。まあ、とにかく、楽しかった。

柴田……先生方、今日はありがとう。後輩諸君ありがとうございます。高校の時は文化部にいたが、すばらしいクラブだった。体をこわさないようになんばつてくれ。大学にはいつだよりクラブにはいった方が印象深かった。

松本(笑)……良い先輩、後輩に恵まれて幸せだった。

## 名工大周辺

A.3 小木曾 英夫

名工大のある御器所町周辺は、古い町である。古い民家がひしめいていて、昔のふん囲気が残っている。名工大の学生は、大体この周辺に下宿する。学生相手の飲屋や、麻雀屋がたくさんある。とくにグンドウと呼ばれる通りには、それが多い。昔、この通りに軍曹と呼ばれる先輩がいたので、グンドウと言うのかと思っていたが、そうではなく本当にグンドウだそうだ。この通りの飲み屋に柔道部の者はよく行く。安いのが良い。みんなして、よく飲みに行くものである。柔道の練習で汗を流し、ビールを飲んだり、歌を歌つたり、よく騒いだものだ。

こんなことがいつか思い出となつて残るのであろうか。大学生活の数年間をこの街で過して、どこか他の土に移つて行くのだが、名工大周辺の街並は、いつもでも、このままで残つて欲しいものだと思つ。

## 試合結果

夏季大会 (S. 51.5.29㊁)

大	副	五	中	三	次	先		大	副	五	中	三	次	先	
石 村 田	和 小 木 曾	小 木 曾	岡 本	加 藤	井 上	大 前	名 工 大	岡 本	和 田	石 村	永 戸	小 木 曾	井 上	横 四 方	大前 ⑥
○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
上 四 方 い 方	背 負 い 腰	払 い 内	小 内	合 せ 技	合 せ 技	合 せ 技	内 股	内 股	背 負 い 股	背 負 い 股	背 負 い 股	背 負 い 股	背 負 い 股	○	○
黒 川	道 家	土 本	大 原	小 林	宮 島	兼 松	1	谷 山	小 井	黒 沢	江 辺	岡 田	田 辺	1	皇 学 館

夏季大会 (S 51・5・30日)

名工大 1

先

次

石村

大前

○合せ技 (小外、くずれけき)

大外刈、払腰 ○

笠原

三井上

中岡本

五小木曾

副和田

大永戸

大前

先

石村

○横四方

体落し ≡

白井

②岐阜大

次

岡本

中岡本

五小木曾

副和田

大永戸

以上、1位

岐大、2位  
愛工大 3位、名工大

内股 ○

○ ④名学院

大副

五中

三先

佐藤

合せ技 (大外、払腰)

横四方 ○

平松

鈴木

支え釣込腰 ○

横四方 ○

平松

新人戦 (於 S 鎌) (S 51・6・20日)

名工大 0

大前

先

永戸

加藤

上戸

佐藤

合せ技 (大外、払腰)

横四方 ○

平松

鈴木

支え釣込腰 ○

横四方 ○

平松

東海国立大学戦 (各大道場) (S 51・7・4) ⑤

名工大 ④

大前

先

永戸

加藤

上戸

佐藤

西江

杉井

大前

岡本

小木曾 (克)

○ ○ ○ ○

足払い、横四方

横四方

○ ○ ○ ○

足払い、横四方

横四方

平松

鈴木

春日井

永田 (智)

永田 (匡)

永田 (智)

○ ○ ○ ○

足払い、大外

横四方

○ ○ ○ ○

足払い、横四方

横四方

若林

若林

若林

堺古

堺古

堺古

大副

五中

三先

佐藤

佐藤

佐藤

西江

西江

西江

杉井

杉井

杉井

大前

大前

大前

岡本

岡本

岡本

五中

五中

五中

三重

三重

三重

大前

大前

大前

先

先

先

永戸

永戸

永戸

佐藤

佐藤

佐藤

西江

西江

西江

岡本

岡本

岡本

大前

大前

大前

先

先

先

永戸

永戸

永戸

佐藤

佐藤

佐藤

西江

西江

西江

岡本

岡本

岡本

大前

大前

大前

先

先

先

永戸

永戸

永戸

佐藤

佐藤

佐藤

西江

西江

西江

岡本

岡本

岡本

大前

大前

大前

先

先

先

永戸

永戸

永戸

佐藤

佐藤

佐藤

西江

西江

西江

岡本

岡本

岡本

大前

大前

大前

先

先

先

永戸

永戸

永戸

佐藤

佐藤

佐藤

西江

西江

西江

岡本

岡本

岡本

大前

大前

大前

先

先

先

永戸

永戸

永戸

佐藤

佐藤

佐藤

西江

西江

西江

岡本

岡本

岡本

大前

大前

大前

先

先

先

永戸

永戸

永戸

佐藤

佐藤

佐藤

西江

西江

西江

岡本

岡本

岡本

大前

大前

大前

先

先

先

永戸

永戸

永戸

佐藤

佐藤

佐藤

西江

西江

西江

岡本

岡本

岡本

大前

大前

大前

先

先

先

永戸

永戸

永戸

佐藤

佐藤

佐藤

西江

西江

西江

岡本

岡本

岡本

大前

大前

大前

先

先

先

永戸

永戸

永戸

佐藤

佐藤

佐藤

西江

西江

西江

岡本

岡本



# 心 技 15号

## 目 次

OBの言葉	2
顧問の先生の言葉	3
昨年度卒業生の言葉	3
本年度卒業生の柔道部四年間	4
大前 悟	4
小木曾英夫	4
石村 孝	5
試合結果	7
卒業生名簿	9
現役部員名簿	22

昭和  
53  
年  
3月

心

技

## OBの言葉

40年卒 望 月………社会に出ても力一杯がんばってもらいたい。(卒業生  
に対して) 練習に勉学に励んでもらいたい(存校生に)

40年卒 海老沢、木村………柔道をやっていて社会に出てからも役に立った。4  
年間がんばって柔道を続けてくれ。

42年卒 杉 山………4年間柔道部にいた事を誇りに思ってもらいたい  
(卒業生に)柔道をやって苦しい時があるだろうが  
その苦しみを大切にして欲しい。

42年卒 鯉 谷………柔道に勉学に遊びにいろいろと生きてもらいたい。

42年卒 池 田………学生時代は酒をよく飲みにいったものだった。とにかくいろんな面で勉強になった。

51年卒 加 納………落ち着いたら練習に顔を出したい。

51年卒 北 折………大学を卒業するのは人生においてよいくぎり目となるから気分を新たにがんばってほしい。

51年卒 春 田………皆んな行く先が決まって良かった。院生の柔道部  
OB会でもつくろうか。

51年卒 松 本(正)………1つ身につけるものを何かやるのは大切な事だ。それが大学生活における柔道であったのは良かった。

### 顧問の先生の言葉

芳賀先生……柔道を知っている事は日本人の誇りであり、本当の柔道とはどのようないいものか説得できる様な人間になってもらいたい。

(卒業生に) 社会に出てからも柔道をやったという誇りを持ってもらいたい。

(在校生に) 1人1人が必ず勝つつもりで試合に臨んでもらいたい。

## 昨年度卒業生の言葉

岡 本……大切な試合のときだけをしてしまってbestの状態で臨めなかつたのが残念だった。今終つてみるとなかなか有意義な大学生活だった。又アメリカでもいろいろ人と会つて視野を広めたい。

和田……この4年間はなかなか楽しかった。在校生の諸君今年はどんどん練習して強くなり1部昇格を果してくれ。森……………みなしっかり練習してくれ。佐伯……4年間とにかく柔道を続けてくれ。

佐 伯……4年間とにかく柔道を続けてくれ。

## 本年度卒業生の柔道部4年間

柔道部での4年間

大前 悟

大学に入って緊張もとけてないそんなとき何かスポーツクラブに入ろうと体育館をうろついていると柔道部のポスターが目に着いた。柔道なら中学からやっているからと思い、さっそく道場へ行った。すると10名足らずの先輩がいて見学していくと言う事だったのでおとなしく見ていた。その日以来柔道部にやっかいになることになったがとにかく人のいい連中ばかりで柔道こそそんなに強くないが団結していることでは名工大一だと思う。後輩が突然下宿に押しかけ酒をおごらされたり、同輩が来てキャバレーにきそったりとともにかくよく遊んだ。しかしその遊びも僕にとってはいい経験だったと思う。僕たち4年生はこれから社会へ出て行くのだけれど人のつき合いという意味ではほんとうにいい勉強をさせてもらった。

卒業にあたって、いろいろな面で御指導してもらった。又井先生、芳賀先生、守屋先生、その他諸先輩、ありがとうございました。またこれからも大変だと思いますが、後輩の御指導よろしくお願ひいたします。僕も暇を見つけて名古屋へ又行きます。その折はよろしくお願ひします。

## 柔道部四年間

小木曾英夫

私は、名工大に入学すると、直ちに、柔道部の門をたたいた。以来、4年間、思えば、アッという間の時間であった。

柔道部と共に過した4年間に、いろいろな人達を知ることができたし、練習や試合を通して、多くの事を学ぶこともできた。今では、楽しかったこと、苦しかったこと、みな良い思い出となって残っている。私にとって、名工大に入ったことは、柔道部に入ったことであった。時が経ち、名工大のことを思い出すと、それは名工大柔道部のことであろう。又井先生、芳賀先生、また守谷監督など立派な指導者に出会うこともできたり、前後4年間を通して、たくさんの先輩、後輩を持つこともできた。これは柔道部に入っていたいなければ得られなかつた素晴らしい財産であると思っている。

4年間、苦楽を共にした同輩は、石村、大前の2人であった。たった三人で柔道部を引っ張っていった1年間は、大変であったが、それ故に、彼等との思い出も多い。みな科が違うので、専門のことは余り話さなかつたが、よく酒を飲み、よく遊び、そして、よく柔道に励んだものだ。

大学生としての4年間、いくらかの専門的知識は身についたかもしれない。しかし、私には、柔道部員としての4年間に学んだものの方が大きいような気がしてならない。勝負をかけた試合、日々の練習、きびしい合宿、そして勝利の美酒。私は、柔道部で体得した精神をもって、これから社会に飛び出そうと思っている。あとに残る後輩諸君には、より一層の練習を積んで、大きく飛躍することを望んでいる。  
柔道部よ永遠なれ！

## 黙想

石村孝

4年の時間をさかのぼり、色々な想い出をつづりたい。

入学し、かなり早い時期に部室を訪ねられた。自分が入部第一号だと思いつつ当時の主将に入部したい気持ちを伝えたのだが、その時点でもはや、小木曾というかなり体重のありそうな奴が入部していることを知らされた。なるほど、見るからに重そうな奴だ。……が、しかし強そうではない。まあ、体重にものを言わせて切れの鈍い技を数少なく出すタイプだろうと直感した。その後、大前とかいう孫悟空の現代版みたいな動物が、(不幸にも片親が、猿だとか後で知らされたのだが) 第3人目として入部して来た。

そういえば、名前の方も孫悟空の一字を取って悟（さとる）だ。なかなかいい名前だ。

もう一人、八塚君がいたのだが、彼は家庭事情の為早く退部してしまい、あまり接触がなかった。それ以後、この三人で色々と独創的な想い出を作るはめになるのである。

東北旅行にて、まず最初の想い出がつくられた。今でも、それは鮮明に脳裏に焼き付いている。女ふろをのぞいて、宿舎の支配人に怒鳴られたこと、不思議にもこの場合には、どすけべ小木曾が参加していないのだ。何のことはない、酒の飲み過ぎでふろに入る体力が残されていなかっただけで、もし、あと、ほんの微量でも残っていれば、まず第一に彼がのぞいたのだろうとおれは確心する。結局、支配人に私が名前を聞かれた時に「斎藤三郎」と偽名を使つたことだけが、すぐ話題にのぼるはめになった。

四国旅行も楽しきでは負けない。みんなで海で泳ぎ魚を取って、民宿で料理してもらったこと、同じ所に泊まっていた女子大生のグループに近づいては、嫌われたこと、夕日を眺めてロマンチックな気分にひたっている時に、小木曾が側に寄ってきて、屁をふりやがったこと、ふろに入っていると、和田さんがおれのけつを見て、心の底から真剣に、「お前のけつはきたねえな。」と言ったことが妙に印象的である。

さて、試合の方はどうだったかなあと話を変えたい。試合功者の大前の事をよく覚えている。あいつは力はないし、技だって体落しと、内股すかしだけだが、試合運びの点では非常にうまい。自分が不利だと思うとすぐ柔道着を脱いでみたり、手でもひねられた様に、仮病を使っては、体力の回復を待ち、かつ、まわりからの技の面での指示を待つ。ざるいと言えばざるいが逆に言えば勝つ、あるいは負けまいとする執念だけは、下級生諸君も大いに学び取るべきであろう。しかし、相手が奥襟を持って技をかけてくると、いとも簡単に上着を脱いで技をすっぽかすのであるが、その功みさはいつ見ても神技だ。今度、そのコツを聞いてみよう。

小木曾の方はちんたら柔道の極限だ。がっちり組んで、そのまま白線真近今まで行って、かかりもしない技をかけては場外にもつれ込む。そのくり返しで、時間の経過をまつ。彼程の体重があれば、そんなにたやすく投げられることはないと想うのだが、時間終了直前になると、きまって木の葉が舞うようにあの巨大が空を飛ぶ。今度会ったら、彼にも何故みんなにきれいに飛ばされることが出来るのかを聞いてみたい。

最後に、コンパの事について話したい。結局、コンパでの柔道部が本当の姿の柔道部だと思う。歌がある、振り付けがある、一、二年の恐怖におののいた目がある。三、四年の喜びに満ちた目がある。素晴らしい充実した時間だと思う。試合では、生彩を欠くこの二人だが、コンパになると別人のように変身する。一年生の時の大前は、コンパにも試合功者振りをみせては、先輩に責められていたが、おかげでおれも、小木曾も、注目の的をのがれ集中的に飲まされるということがなく、幸いであった。二年以後は、もっぱら飲ませる方にまわり自分たち三人は、とてもうまい酒をいただき、うまい物を食べさせてもらった。中でも、小木曾は超人的に飲んで食べる。豚がやっとえきにありついた様と思い起こせる程だ。その勢いたるやすさまじい。それでいて、そのペースが落ちない。テーブルの上に何もなくなるまで続く。先日のコンパでもそうだ。五、六人で囲むべきテーブルをおれら三人で囲みその $\frac{2}{3}$ は、一人で食いやがった。四人前をたいらげた勘定になる。とにかく二人ともユニークである。その中に居たおれは、相当影響を及ぼされている。土木科の中の自分より、柔道部の中の自分の方が、想い出もたくさんあれば、楽しきもひとときわだった。

こんな三人だが、卒業てしまえば今までのよう、毎日毎日顔を会わすこともなくなる。淋しいことだ。だからこそおれは、以後OB会には必ず参加する。守谷さんの顔もみたい。アルファーセブン井上にも、戦艦永戸にも、軍国主義小谷にも、ばけ西にも、みんなに会いたい。死ぬまでおれは柔道部と関係を保ちたい。長い長い名工大柔道部の歴史の中のほんのひとコマにしか出られなかったけど、それでいいじゃないか、そのひとコマは、自分にとってはかけがえのない学生時代そのものなのだ。おれは幸せだ。こんな素晴らしいクラブに入って、こんな素晴らしい連中と知り合えて……。

# 試合結果

名工大 0	⑦愛知学院
藤本	内背
川藤	背
田江	押
田江	内
名工大 ⑤	⑧愛知大
藤本	押
川○	え外
藤本○	押
本江○	絞

## 冬期優勝大会

名工大○	名保大
藤藤戸上	原部藤児川藤地(元)
佐加永井 西 大 小 木 前曾	岐経大 井藤野西野田地
名工大○	大羽幸田川野藤田
佐井 西 藤戸前村	愛丹山林長佐加石
名工大	大谷
佐加永井 西 前村	横山

1位 愛大 2位 岐大 3位 名工大

## 夏期大会(S52. 5. 21)

名工大 ④	3日 福大
藤戸前村○上藤○	内股めい腰固め
名工大 ④	1大同工大
藤戸前村○上藤○	背背背絞
名工大 ②	2大藤戸前村○上藤
名工大 ①	3大本江村○上戸藤

## 準決勝

名工大	1位 愛工大
名工大	2位 三重大
名工大	3位 名工大

## 新人戦(S52. 6. 26)

新名工大 1	4中工大
藤本江田	志早古加鈴福
藤本江田	山

# 心技 第 16 号 目次



昭和 54 年 4 月

表 紙 ……嘉納杯無差別級、山下ルージュに大外刈で有効  
心技に寄せて ..... 部長 又井不二雄 3

## O B 便り

5 A 水野金市	4
2 8 C 稲塚 勝	4
3 7 M 吉村 建	4
4 2 D 杉山倫一郎	4
4 3 A 菊師寺宣安	4
4 6 B 加藤正剛	5
5 0 C 川崎恭史	5
5 2 E 佐伯正樹	5
5 3 C 石村 孝	5

## 現役文集

W 1 東野利也	6
E 1 小俣剛	6
K 1 前田千芳利	6
Mb 1 原田秀明	6
A 2 豊谷尚広	8
E 2 須田隆夫	9
A 2 中本 康	9
C 3 加藤勝久	9
M 3 市川 誠	10
Es 3 大西 宏	10
戦 繩	11
会計報告	14
年間予定	14
役員名簿	14
O B 名簿	15
現役名簿	30

## 〈心技〉に寄せて

部長 又井不二雄

「心技」に何か一言との御連絡を受け、卒業生の皆様に紙面をかりて御挨拶申し上げる機会を与えてくれた現部員に感謝します。

名工大の柔道部の皆様とは非常勤で御手伝をしてきた頃から長い御交説をいたしました。年賀状にかつての学生時代の部員の皆様の姿を懐ぶのは老人になった私の唯一の楽しみです。

時折部員にいただく「心技」を実に素晴らしい部誌名だと思っています。何時の頃から誰が「心技」という名称を採用して部誌を発行されたのか知りませんが、此の「心技」が卒業生の方々に、或る時はお互い人生の岐路に立った時、かつて道場で其に汗を流し、合宿で人生を語り合った青春の日の多感な一コマを思い出す莫逆の友を得て、今日の生きる糧となっているであろうことを信じて疑いません。

「心技」について技の真髓を説いた莊子の庖丁（庖は料理人、丁は人名）の古事を引用して、私なりの理解をしてみたいと思います。庖丁が、文恵君のために牛を料理してみせたが、あの大牛を見事なリズムで手ぎわよく料理したので、文恵君は「實に見事なものだ、技も奥義を極めるとこんなにもなるものか。」と称賛すると、丁は牛刀を置き『殿様は私の料理を見事な技だといわれますが、実は私の願いとするところは道であり、技以上のものであります。私が牛をはじめて料理した頃は、目にうつるものはただ牛ばかりで、どこから手をつけてよいか見当もつきませんでした。それが3年目にやっと牛の体のそれぞれの部分が目に見えるようになり、現在では形を超えた心の働きで牛をとらえ、目で視、形に頼って仕事をすることはなくなりました。あらゆる感覚知覚は、その動きをひそめ、精神の働きだけが活発に行なわれ本來自然の現に従い料理出来るようになりました。』と、莊子はこの比喩で人間生活百般の営みもそれが天理にしたがってなされる限りまた一つの自然であると説いています。

「心技」もきっと此の様な意味を持たせた言葉であろうと思います。

今後も名工大柔道部のため卒業生の方々が蔭に陽に御力添えをいただき、此の「心技」がOBの方々の連絡の一助にでもなれば部員のよろこびも一入のことと思います。

柔道部OBの皆様の御活躍を祈り筆をおきます。

OB便り

アサヒのくわん

部長 又井不二雄

S 4 建築科卒業 水野金市

柔道の本質及び目的について嘉納師範の遺訓として「柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修行は攻撃防禦の練習によって身体精神を鍛錬修養し斯道の神髓を得するにある。」そしてこれによって己を完成し、世を補益するのが柔道修行の究極の目的である。」

更にこれを要約して「精力善用」「自他共栄」の2つの言葉で表現されている。OB諸君には7月2日以降引続き行われる多くの大会に備えて、合宿練習をはじめ猛練習されているとのこと、各大会に於て、必ずやその成果を遺憾なく發揮されて、ご活躍下さることと確信します。然しお諸君は余りに勝負にとらわれないで、嘉納師範の遺訓を上記により、紹介した如く常に柔道の本質及び目的の体得に励まれることを期待します。新入生を向えて各位益々御活躍のことと思います。皆様方の御健闘を祈っております。

3 5 年土木科卒 長谷川 淳一  
「心技第 15 号」拝読し諸兄の御活躍心強く思いました。おひでてうごめきを貢献する  
一層の研鑽され、悔いのない青春時代をすごさんことを望みます。おひでてお元気の活躍  
を心からお待ちしております。3 7 年機械科卒 吉村 勉 建設会社  
御活躍を期待しています。おひでてうごめきを貢献する一層の研鑽され、悔いのない  
企業は柔道部員卒を欲としている// おひでてうごめきを貢献する一層の研鑽され、悔いのない

早いもので柔道部を卒業後 10 年以上が過ぎ去りました。私は現在日本車輛製造 KK で

開発関係の仕事に従事しています。企業は現在厳しい経済情勢下に置かれており、少しでも売上げを伸ばそうと必死に努力しています。私もその手伝いをしている 1 人です。一時、植木等の「サラリーマンとは楽な稼業」ときたもんだ。月という唄が流行ましたが、とてもそんなものではありません。そんな従業員がたくさんいたら直に倒産してしまいます。現在の方が学生時代よりよく勉強します。少なくとも帰宅後必ず 1 時間は書物に目を通します。周囲が皆そうなので自ずとそうなります。社会人になってからのバイタリティは学生時代に身につけるものです。唯単に下宿と教室を往復しているだけではダメです。柔道をやって酒を飲みそして勉強することです。後輩諸君も柔道に勉学にがんばって下さい。

#### 4 3 年建築科卒 薬師寺 宣安

柔道部の良さは荒潮の中の鯛に似る。その味は常に新鮮であり、味わう度に本物の良さを新しく思い起こさせる。昔から、あるものでありながら、思い出す度に今のことのよう

に思い出し、そのことをいつも、いいと思う。その中には同輩と先輩とそして後輩のつな

がりがあり、師との思い出がある。

人に勧めたい。

#### 4 6 年経営科卒 加藤 正剛

拝讀、心技を御送り頂きましてありがとうございます。青葉が目に鮮やかに映る気候となりました。緑溢れる鶴舞公園が懐かしく思い出されます。新入部員の他、諸氏の柔道と学業に於ける活躍を御期待申し上げます。

#### 5 0 年土木科卒 川崎恭史

心技、受け取りました。後輩諸君の活躍を期待しつつ、戦績のページを見ていたが、例年と余り変わらぬしない成績に少しガッカリしている。これでは、O B 会費を出す方としても、張り合いかないというものです。今年こそは少しでも成績を上げるよう努力して下さい。

#### 5 2 年電気科卒 佐伯正樹

前略、心技確かに受取りました。後輩の柔道大会での活躍を見ると、心動かされる思いがしました。今後も、人数は少なくとも、自己練磨し、柔道も強く、勉強も出来、女遊び又は男女交際もするといった全面的成長を期待しております。

#### 5 3 年土木科卒 石村孝

遅れて大変申し訳ない。高物価の折、5 千円ばっちり何のたしにもならないと思うが、婚期を直前にひかえた俺の精一杯の気持ちのつもりだ。O B の金を集めて、部費にするのもいいが、たまには、全部遊びに使ってみたらどうだ。力一杯飲み食いして、その後トルコにでも行って、もっともそこまでは、金の方も足りないかもしれない。

おれも一生懸命仕事している。お前らも本気で強くなれ。守谷さんを喜こばしてみろ//

### 3年C科 加藤勝久

私と柔道との出逢いは、中学校以来なので、今年で、9年になる。中学に入学した頃の私は気が小さく、温厚で運動音痴であった。そんな私にとって柔道とは、まさに恐怖そのものであった。なぜそんな恐怖の固まりである柔道部に入部したのだろうか？ 一つには、当時、流行っていた個性物のテレビ番組への憧れだっただろう。そして、もう一つには、「男は強くなくてはいかんぞ！」という、親父の言葉だったろう。

しかし、現実は甘くはなかった。その頃の中学校の柔道部というのは、「3年生神様、2年生兵隊、1年生奴隸」という諺のように、上下の差別がたいへんに厳しく、1年生の間は、練習というよりは、先輩による扱きの連続であった。今思えば、よく耐えられたものだなあと感心する。

高校に進学しても、勉学のあいまに柔道を行なった。そして、名工大に入学し、良き先輩の勧誘により、飽きもせず、柔道部に席を置いた。驚いたことに、そこには、今までに遭遇しなかった大敵が在った。それは「酒」だった。合宿の度に飲まされた。いや飲むという表現よりは、浴びるといった方が正解であったろう。しかし、半年ほど過ぎると、酒という大敵は姿を変え、大味方と変身した。そして今では私にとって生活必需品となつた。

また、名工大柔道部は、ユニークな人材が豊富で、それらの人々と接したことにより、種々な人生勉強ができた。

9年間柔道と付き合ってみて、柔道の実力よりも、副産物（体力、友人関係、責任感、酒、ギャンブル、etc）の方が多かったかもしれないが、私は、それはそれでよかったと思っている。今後も柔道と共に、副産物を育成したいと思っている。

### 3年M科 市川誠

先日、友人に誘われて、ある歌手のサイン会に行った。会場には、数十人の男子と数人の女子高生がいた。その歌手が歌い始めると、男子達が、声援を始めた。その時私はふと女子高生の方を見た。その表情や挙動から女子高生特有の美女に対する嫉妬と男子に対する侮蔑の気持ちを私は直ぐ感じたように思った。これは、私には、彼女達と同じ年頃の妹がいるからだろうか。

ふと横を見るとY君がうつむいてじもじしている。その動作から大学生特有のはじらいと、スターに対する憧憬の気持ちを感じた。これは、私にはおかま風の友人がいるからだろうか。

その後、私はサインをもらい、S君に見せたところ、即「くれ」と言った。その目の輝きから、大学生特有の強欲を感じたように思った。これは、私には、成金の友人がいるからだろうか。

帰りに喜んでサインを持って歩いていると大学生くらいと思われる女性が通りかかった。表情や挙動から、若い女性特有の男性に対する鋭敏さを、私は直ぐ感じたように思った。彼女はひと目で、この不思議な男のうれしさを見抜き、軽蔑のまなざしを投げかけたよう見えた。これは、私には、彼女と同じ年頃の女友達がないためだろうか。

### 3年Es科 大西宏

今年も1年が入って来たがそのうちのA君とは下宿が近いためよく行き来をする。これはその観察記録である。初めて彼の下宿へ行った時、彼は勉強していた、その時の会話俺「おう、勉強しとるんか！」

A「はあ、他にすることもありませんから。」

2回目行った時、彼は熱心にテレビを観ていた。その次に行くと、ゴミだらけの部屋の中の万年床で寝ていた。その次ぎは起こしても起きなかつた。そしてその次ぎは……彼は不在であった。パチンコへ行ったという。テスト週間の前日の事であった。私は2年前の自分を見ているようで背筋に寒いものを憶えた。今、彼は、落とした単位の多さに悩みつつ、今日も元気に軍艦マーチを口ずさんでいる。

# 戦 績

## 名工大出足つまづく

### 夏 季 大 会

5月13・14日両日スポーツ会館において行なわれた夏季大会において名工大は昨年、一昨年の3位からさらに転落し4位となり、先行の不安を思わせるスタートとなった。

13日の予選Bブロックにおいて、愛教大、名市大を破った名工大は14日、岐大、岐経大、日福大との決勝トーナメントに出場した。

14日の最大の山場は岐経大との準決勝で、彼我共によく聞い大将戦にもつれこんだ。この試合で主将加藤勝久君は、肩の鎖骨を浮かせる負傷をおいながらも奮戦したが、およばず決勝進出の夢をはたせなかった。また、この試合でレギュラー陣の多くが、負傷するという不幸にみまわれ、満身瘡痍で臨んだ日福大との3位決定戦は実力を出しきれぬまま惨敗におわった。個人戦では最高3回戦進出で見る所はなかった。

加藤氏談……試合でケガをするなどもってのほかだ。次回はガンバル見ていてくれ!!

#### 予選

名工大③		1 愛教大	
先	小	畠	引 分 橋 本
次	杉	江	引 分 永 井
五	岡	本○	一本背負 石 田
中	加	藤○	内 股 岩 井
三	原	田	大 内 刈 丹 羽
副	前	田○	横四方固 藤 川
大	佐	藤	引 分 大 橋

#### 準決勝

名工大 2		②岐経大	
先	岡	本	大 外 刈 ○ 安 藤
次	井	上	引 分 原 野
五	小	畠○	小 内 刈 近 藤
中	加	藤○	背 負 岡 田
三	杉	江	袈 固・体 落 ○ 富 田
副	佐	藤	引 分 服 部
大	前	田	引 分 酒 井
代	加	藤	小 外 刈 ○ 富 田

名工大⑤		0 名市大	
先	小	畠	引 分 稲 熊
次	杉	江○	大 外 刈 和 久 井
五	岡	本○	一本背負 小 杉
中	加	藤○	大 楔 土 本
三	中	本	引 分 余 語
副	前	田○	袈 固 中 崎
大	佐	藤○	内 股 久 野

#### 3位決定戦

名工大 2		④日福大	
先	岡	本	釣 込 楔 ○ 奈 須
次	井	上	体 落 ○ 森 岡
五	小	畠	繩 技 ○ 中 世
中	加	藤	背 負 ○ 杉 本
三	杉	江	引 分 安 德
副	佐	藤○	内 股 鈴 木
大	前	田○	返 技 井 林

## 名工大堂々の準優勝

### 東海地区国立大戦

7月2日名工大を当番校として行なわれた、東海地区国立大戦で名工大はBリーグに出場、岐大、三重大を破り決勝戦に出場したが惜しくも名大に敗れた。この結果1位名大2位名工大3位静大4位岐大となった。この成績は今大会各種目中、名工大最高でこれは大いに大学側の認めるところとなった。

# 名工大惜しくも準優勝

## 全国国立工業大学柔剣道大会

本年の工業大戦は11月3日九州工大で行なわれた。この大会、昨年—昨年の低迷を跳ね返すべく優勝をめざして乗りこんだ名工大は、第一戦に昨年度優勝校北見を下した。しかし、第二戦に九州に破れ優勝は遠のいたかに見えた。その後名工大は東京、室蘭を順調に下した。この日の山場はこの直後訪れた。順調に全勝街道を走っているかに見えた九州が北見に2対2で内容負けしたのである。この結果、九州・名工大が勝点3で並んだが、得点差で僅かに及ばず、準優勝となつた。なお、個人戦は2年須田君の2回戦進出が最高であった。

名工大③		1 北見工大	
先 加 藤	○	一本背負	薄 井
次 岡 本	○	内股空し	板 垣
五 前 田	引 分	高 橋	
中 佐 藤	内 股	○ 金 山	
三 中 本	○	横四方固 真 田	
副 杉 江	引 分	中 山	
大 津 田	引 分	橋 本	

名工大③		1 東工大	
先 前 田	引 分	菊 池	
次 加 藤	○	背負投 村 上	
五 岡 本	○	内股空し 陳	
中 中 本	引 分	花 塚	
大 佐 藤	大外刈	○ 齊 藤	
副 杉 江	引 分	曾 谷	
大 市 川	○	小内刈 田 中	

名工大①		③九工大	
先 加 藤	送足払 ○ 中 筋		
次 前 田	引 分 大 蔽		
五 岡 本	背負投 ○ 奥 田		
中 中 本	横四方固 ○ 邑 本		
三 佐 藤	引 分 遇		
副 杉 江	引 分 野 田		
大 津 田	引 分 田 島		

名工大③		0 室工大	
先 加 藤	引 分 対	馬	
次 岡 本	引 分 吉	田	
五 中 本	蓑 固 中	山	
中 前 田	引 分 滝	沢	
三 市 川	○ 小内刈 原	田	
副 佐 藤	引 分 鈴	木	
大 津 田	○ 小外刈 横	井	

1位九工大 2位名工大 3位北見工大 4位東工大 5位室工大 京工大不参加

## 冬季大会(11月23日於スポーツ会館)

名工大		愛教大	
1回戦不戦勝、2回戦愛教大と当	先 佐 藤	引 分 先 永 井	
たり敗退。今後に課題を残す結果と	次 前 田	○ 後 腰 次 石 田	
なった。その中で杉江君の活躍がめ	前 田	背負投 ○ 五 大 橋	
だった。杉江君談「愛教大に敗けて	五 中 本	鉤込腰 ○ 大 橋	
たまるかと思った。あと1人だった	中 加 藤	引 分 大 橋	
が……。」	三 小 烟	返 技 ○ 中 丹 羽	
	副 岡 本	払 腰 ○ 丹 羽	
	大 杉 江	○ 繰 技 丹 羽	
	杉 江	○ 谷 落 三 岩 井	
	杉 江	引 分 副 藤 川	

(一人残し)

— 18 —

## 役員名簿

部長 又井 不二雄  
岐阜県鷺山町2  
TEL 0582 31-5695

監督 守谷 稔(44K)  
TEL 782-0416

O B会長 吉村 建(37M)  
連絡 真弓 雅彦(41Y)

**53年度**  
主将 加藤 勝久  
副将 岡本 慎二  
主務 津田 裕之  
涉外 市川 誠  
会計 大西 宏  
道場指導 佐藤 金典  
生活指導 杉江 嘉男

**54年度**  
主将 中本 康  
副将 小山 恭寛  
主務 豊谷 尚広  
同補査 加藤 栄市  
涉外 白石 順一  
会計 大湯 蓮  
同監査 岡田 昭彦  
合宿指導 須田 隆夫  
道場指導 小畑 勉

## 会計報告

本年度はO B会費として多くの方々から計17万3千円をいただき誠に有難うございました。以下53年度会計報告をさせていただきます。

### 収入の部

繰 越	42,700
自治会費	22,000
部 費	48,000
コンバ残金	74,020
O B会費	173,000
そ の 他	58
計	359,778

### 支出の部

O B年賀状(2年分)	9,650
卒業記念品	15,000
心技15号	88,000
試会参加費・保険料	63,129
東海国立役員昼食	7,560
心技送料	28,700
夏合宿不足	3,520
リードートレーニング	1,000
柔 医	11,851
雑 費	27,428
計	255,838

なお残金約10万円は当心技の製作にあてさせていただきます。

## 昭和54年度 年間活動予定

- 4月10日 入学式・合宿(1週間) 末頃新歓合宿
- 5月12・13日 夏季大会(スポーツ会館)新歓コンバ 27日頃 対空手部ソフトボール コンバ
- 6月8日 新人戦(スポーツ会館) 14~17日 工大祭(柔道部大活躍)
- 7月8日 全国国立(講道館)
- 7~8月頃 夏合宿(昨年は東京学芸大と合同)
- 11月頃 五工大戦(京都工繩)
- 11月23日 冬季大会(スポーツ会館)
- 11月25日 理工系大会
- 12月初め年間納会コンバ
- 1月末追出しコンバ

これは予定ですので変更もあります。各主要試合前には学内合宿をはります。諸コンバには広くO Bの参加を求めます。

近年心技の編集に当たっては、O B名簿の充実に力を注いでありますが、現役の力だけでは限界があり思うにまかせません。O B各位の中で御存知の方がございましたら御一報下さるようお願い致します。

〒466

名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学柔道部

## 編集後記

遅くなってしまった。現役O B共に原稿の裏まりが悪かったせいだ。特にO Bの原稿がたりなかったので会費に同封された手紙を無断で使用させていただいた。しかし、現役の文を見るといかに奇人変人の裏まりかということが一目で解かりますなあ。いずれにせよ今回は心技に多くの内容を含ませてみましたが、O B各位の中に御意見御希望又御援助などお送りいただければ幸いに存じます。

編著者

### <追伸>

心技遅れのため現役のうち4年生は既に卒業、これのつくころには全員？ 1年ずつ上がっているはずである。

### ● 以下に名簿がありますが、掲載は控えます。

- ① 卒業生名簿：昭和2年～昭和53年
- ② 現役部員名簿：